

平成 19 事業年度

決算報告書

自：平成 19 年 4 月 1 日

至：平成 20 年 3 月 31 日

国立大学法人富山大学

平成19事業年度 決算報告書

(自：平成19年4月1日 至：平成20年3月31日)

国立大学法人富山大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	14,132	14,131	0	
施設整備費補助金	1,113	1,126	13	(注1)
補助金等収入	15	244	229	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	72	72	-	
自己収入	17,117	17,211	94	
授業料及び入学金及び検定料収入	5,364	5,250	-113	(注3)
附属病院収入	11,627	11,666	39	(注4)
雑 収 入	126	293	167	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,241	1,505	264	(注6)
引当金取崩(退職給付引当金)	-	3	3	
長期借入金収入	472	471	0	
承継剰余金	-	0	0	
旧法人承継積立金	-	28	28	(注7)
目的積立金取崩	-	437	437	(注8)
計	34,162	35,231	1,069	
支 出				
業務費	24,174	25,176	1,002	
教育研究経費	13,194	13,700	506	(注9)
診療経費	10,980	11,476	496	(注10)
一般管理費	5,838	4,930	-907	(注11)
施設整備費	1,657	1,671	14	(注12)
補助金等	15	244	229	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,241	1,382	141	(注14)
長期借入金償還金	1,237	1,235	-1	(注15)
計	34,162	34,640	478	
収入 - 支出	-	590	590	

予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、耐震対策事業費8百万円及び災害復旧事業費5百万が措置されたことなどにより、予算額に比して決算額が13百万円多額となっております。
- (注2) 補助金等収入については、予算時より 大学改革推進等補助金他を多く獲得したことにより、予算額に比して決算額が229百万円多額となっております。
- (注3) 授業料及び入学金及び検定料収入については、授業料が80百万円、入学料が26百万円、検定料が6百万円少なかったことにより、予算額に比して決算額が113百万円少額となっております。
- (注4) 附属病院収入については、診療単価が目標値と比較して入院1,835円、外来223円高くなったことにより収益は339,470千円増加しましたが、1月から3月分のレセプト保留が増加により診療報酬請求が遅れたため若干(39,690千円)多額となっております。
- (注5) 雑収入については、研究関連収入等の増加により、予算額に比して決算額が167百万円多額となっております。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、産学連携等研究収入27百万円の減少及び寄付金収入が237百万円の増加したことなどにより、予算額に比して決算額が264百万円多額となっております。
- (注7) 旧法人承継積立金については、目的に沿って講義実習棟改修等を行い、予算額に比して28百万円多額となっております。
- (注8) 目的積立金取崩については、目的に沿って診療機器等の購入及び医療用設備充実のために328百万円、校舎改修等に108百万円を当てたことにより、予算額に比して決算額が437百万円多額となっております。
- (注9) 総合研究棟(教育系)改修及び修繕費の増加に伴い、予算額に比して決算額が506百万円多額(一般管理費より予算振替)となっております。
- (注10) 診療経費については、附属病院収益が予算額に比して増となったことや目標医療費率が年度計画に比して増となったことなどに伴い経費増となったため、予算額に比して決算額が496百万円多額となっております。
- (注11) 一般管理費については、役員人件費が予算よりも173百万円減、職員人件費が予算よりも179百万円減及び教育研究経費への予算振替などにより、予算額に比して決算額が907百万円少額となっております。
- (注12) 施設整備費補助金については、耐震対策事業費8百万円及び災害復旧事業費5百万が措置されたことなどにより、予算額に比して決算額が14百万円多額となっております。
- (注13) 補助金等支出については、予算時より 大学改革推進等補助金他を多く獲得したことにより、予算額に比して決算額が229百万円多額となっております。
- (注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、外部資金の獲得に努めたことなどにより、予算額に比して決算額が141百万円多額となっております。
- (注15) 長期借入金償還金については、予算策定時点に比して金利の変動により、予算額に比して決算額が1百万円少額となっております。

損益計算書の計上科目と決算報告書の集計区分の相違の概要

- (1) 損益計算書に計上されている人件費は、決算報告書上は業務費及び一般管理費に含めて表示しています。
- (2) 損益計算書に計上されている支払利息322百万円は決算報告書上、293百万円が長期借入金償還金に含めて表示されており、29百万円が業務費に含めて表示されております。